

[041] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10230>

出版情報：語文研究. 41, 1976-03-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

執筆者紹介

楢田良照	九州大学大学院修士課程
板坂耀子	熊本商科大学講師
矢野準	九州大学大学院修士課程
赤塚正幸	同右
工藤重矩	福岡教育大学講師
中野三敏	九州大学助教授

前号訂正

一〇二頁上段一行の文学研究第三九・四〇合併号を第七十二輯に。

前回特集号の後十カ月ぶりに、本四一号をお届けする。御覧の通り、若手諸君の特集ともいうべきもの。院生の論文が多いが、それぞれ学究としての出発点を確かめるための精進の成果であること、お読み取り願えると思う。もつとも、こういう形となった裏には、年配の卒業生会員の投稿が一年間にわたって皆無に近かったという事情もあったわけで、これについてはやはり、学界のいろいろの事情もあることだが、後輩誘掖のためにも、ぜひ本誌にもふるって御投稿をお願い致したい。

昨年八月十二日、本会の顧問の九大名誉教授田村専一郎先生が逝去された。享年七十七才であられた。先生は大正十二年東京大学御卒業、直ちに旧制福岡高等学校御着任、戦後学制改革後も九大教養部教授として、前後四十年にわたって勤務された。平安朝文学を主に講じられたが、学問は広く深く、その清雅高爽の文人的風格は今に受講生の語り草となっている。

御所蔵の支子(なし)文庫約八千冊は御遺志によって九州大学図書館に寄託されたが、中、貴重書も少くない。その内容については、整理が済み次第適当な機会に公表されることと思う。とりあえず一つだけ御報告しておきたいのは、有名な正治二年写の大和物語一冊が特に九大図書館に寄贈されたことである。

先生の御厚志に深く感謝申し上げますと共に、その御冥福を會員各位と共に御祈り申し上げる次第である。
(今井記)